

2019年5月7日

産学懇談会員 各位

東北大学大学院工学研究科
機械系産学連携推進室
室長 田中 秀治

インターンシップ（企業研修）受入れのお願い

拝啓

陽春の候、貴社にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より、本学の教育研究に格別のご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本学機械系では、学生たちに企業活動を体験させることによって社会的責任を実感させ、ひいては技術者、研究者としての基礎形成に資することを目的としまして、インターンシップ（企業研修）を実施しております。対象となる学生は、修士課程（博士課程前期2年の課程）1年次の学生全員（約250名）で、期間は7月末から9月末までの夏期休暇と補講期間の2～3週間程度です。なお、機械系ではインターンシップは正規の科目として、研修期間2週間以上は2単位、1週間以上2週間未満は1単位を認定しています。

つきまして、インターンシップ制の受入れについて、本年度もぜひご検討をお願い申し上げます。添付用紙にてご回答いただければ幸甚に存じます。さらにお願いを重ねまして恐縮でございますが、学生の経済的負担を軽減するため、仙台より研修先までの旅費や研修期間中の寮の使用など、宿泊施設などについても、ご支援いただけますと大変助かります。

私ども産学連携推進室では、インターンシップのほかにも、様々な場を通じて産学懇談会員企業様との交流をより一層深めて参りたいと考えておりますので、今後とも宜しくご高配のほどお願い致します。末筆ながら貴社の益々のご発展をお祈り申し上げます。

敬具

インターンシップ受け入れ可能な場合はご回答を、EmailもしくはFAXにていただきたくお願いいたします。受け入れ可能とのお返事を頂いた場合には7月に依頼状、研修希望学生の履歴書を郵送させて頂く予定です。また、希望者がいなかった場合は、7月にその旨ご連絡させていただきます。

参加学生は「学生教育研究災害傷害保険」および「賠償責任保険」に必ず加入いたします。

本件に関しましてご不明な点等ございましたら、下記までお問合せください。

東北大学大学院工学研究科 機械系 産学連携推進室

事務補佐員 林田静子

TEL : 022-795-7034 FAX : 022-795-7002 E-MAIL : open@mech.tohoku.ac.jp

インターンシップ受け入れに関する回答書

1. 企業名： _____

下記 2 番は、産学懇談会ご担当者様と違う場合は、ご記入ください。ご担当者様と同じ場合はご記入いただかなくても結構です。

2. ご回答者：(部署・役職) _____

ご氏名 _____

E-mail _____

3. 受入れ可能な学生数 _____名

4. 研修内容または課題および研修場所

(1) _____

研修場所： _____

(2) _____

研修場所： _____

5. 研修期間 (授業の関係上、できるだけ 8 月後半からの 2~3 週間をお願いいたします。)

(月 日 ~ 月 日まで)

6. 仙台より研修先までの旅費 (実費)、宿泊場所等のご支援について

- ・旅費の支給 可能 不可能
- ・宿泊場所の提供 可能 不可能

7. 受け入れ可能な学生について

- ・性別
男女とも可 条件有 (男子のみ等、具体的に _____)
- ・留学生
留学生可 条件有 (日本語で日常会話が可能等、具体的に _____)
留学生不可

8. 依頼状の宛名等ご回答者とは別の場合 (同じ場合は記載不要)

ご氏名 _____ 部署役職 _____